はこぶね

日本聖公会　東京教区
聖パウロ教会　にちようがっこう
〒153-0053　目黒区五本木 2-20-1
でんわ：03-3710-6031

号外76

発行日
2021年
12月19日

今週のお祈り　降臨節第4主日特祷

全能の神よ、み子の訪れによってわたしたちを清め、心の闇を照らしてください。主が来られるとき、主にふさわしいみ住まいを、常にわたしたちのうちに備えることができますように、父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

皆さんはどのようにアドベント(降臨節)を過ごしていますか？ お祈りしたり、聖書を読んだり、楽しみにアドベントカレンダーを開ける人もいるでしょう。いよいよですね! 愛と希望と喜びにあふれたクリスマスを!

今週の聖書　ルカによる福音書　1：39～45

39 その頃、マリアは出かけて、急いで山里に向かい、ユダの町に行った。40 そして、ザカリアの家に入ってエリサベトに挨拶をした。41 マリアの挨拶をエリサベトが聞いたとき、その胎内の子が躍った。エリサベトは聖霊に満たされて、42 声高らかに言った。「あなたは女の中で祝福された方です。胎内のお子様も祝福されています。43 私の主のお母様が、私のところに来てくださるとは、何ということでしょう。44 あなたの挨拶のお声を私が耳にしたとき、胎内の子が喜び躍りました。45 主がおっしゃったことは必ず実現すると信じた方は、なんと幸いでしょう。」

聖書からのメッセージ　「マリアはエリサベトを訪ねる」　司祭 池 星熙

マリアは、天使ガブリエルから「聖霊によって赤ちゃんを産むでしょう」、と伝えられると、すぐにエリサベトが住む山里に向かいました。マリアは天使からのメッセージを聞いたとき、とても驚きました。しかし、深い信仰心をもっていたマリアは、神様に仕える者として心に留めてこのことを受け入れました。天使ガブリエルから、親類でもある年老いたエリサベトが妊娠したことを聞いていたからです。マリアが住んでいるガリラヤのナザレから「ユダの山里」まで直線距離にして 150 キロ以上の距離でした。この遠い道のりをマリアはとにかく急いで行くのでした。ではなぜマリアはこうも急いでいたのでしょうか。天使ガブリエルの言葉が神様のご意思であるとは思っていましたが、自分の運命についてもどうなるんだろうかと不安だったはずです。年を取っているエリサベトは、マリアより先に子どもを持つ奇跡を体験しました。そんな彼女だったからこそ神様の言葉が必ず成就するということをよく知っていたのです。ですから、天使ガブリエルがマリアに言った言葉も必ずその通りになると信じました。マリアはエリサベトに出会ったことで、あらゆる不安を吹き飛ばし、心の平和を得たのです。このような出会いこそが信仰者を結ぶ深い出会いだと思います。